



南小だより

平成25年度

平成26年 2月10日発行
妙高市立妙高高原南小学校

妙高高原地区が「中学校区連携実践発表会」で発表

2月6日(木)、ユートピアくびき希望館を会場にして上越教育事務所主催「平成25年度 中学校区連携実践発表会」が行われました。この会は、幼稚園・保育園から家庭・地域に至る中学校区の課題について、どのように工夫した連携・実践をしていったらよいのか、先進的な取組をしている中学校区の発表を聞きながら学び合うことをねらいとしています。

取組の紹介では、**妙高高原中学校区**が潮陵中学校区・能生中学校区とともに実践発表をしました。内容は、「家庭学習」「メディアコントロール」「アプローチカリキュラム・スタートカリキュラム」の3つです。「家庭学習」では、当校の横田教諭が「家庭学習ノートの目的」「自ら学ぶ力を育む家庭学習の課題の工夫」「小中共通学習ルール」について説明しました。(メディアコントロールは、妙高高原北小学校 後藤養護教諭, アプローチカリキュラム・スタートカリキュラムは、しらかば幼稚園 石田園長がそれぞれ発表しました。)

家庭学習習慣を身に付けることは、中学校へ進学してからの学習意欲に大きく影響します。そして、望ましい家庭学習習慣の形成には、家族全員が協力して学習環境を整えることが欠かせません。発表の中でも、「子ども自身が家庭学習の内容・時間やメディア視聴時間など家庭生活プランを作る」→「保護者がそれを見守り、励ます」というサイクルが、子どもたちに「自分で決めてやり抜く力」を育てていることを主張しました。

メディアコントロールについては、幼稚園・保育園入園～中学校卒業の12年間にわたって「家庭生活プランづくり」に取り組んでいます。幼・保、小・中学校の連携が叫ばれていますが、これだけの実践をしているところは県内でもおそらくこの地区だけではないかと自負しています。

連携したくても、校区が広すぎるため実現が困難な校区もあります。その点、当校区は大変恵まれた環境にあると言えます。これからも当校及び妙高高原中学校区の子どもたちが、心身ともに健全に成長し、自分の夢が実現できるよう、学校と家庭・地域の連携をさらに深めていきたいと思えます。皆様の変わらぬご理解とご支援をよろしくお願いいたします。



発表する横田教諭



全体進行の妙高高原中学校 岡田教諭

南っ子の活躍



☆第44回新潟県ジュニア美術展覧会

奨励賞 引場苗名(5年)

☆新潟県ジュニア選手権第27回オンヨネ・ブリコカップGS大会(1月13日, 上越国際スキー場)

キッズ男子大回転 1位 野本和愛(4年)

☆第23回JRカップ長野ジュニアスキー大会(1月25日, 戸狩温泉スキー場)

小学生4部 大回転 2位 野本和愛(4年)

☆上石巖記念 第28回まつだいクロスカントリースキー大会

(1月26日, 十日町市松代クロスカントリースキーコース)

4年男子の部(3km) 5位 山崎 丈(4年)

5・6年男子の部(3km) 4位 鴨井岳士(6年)

5・6年女子の部(3km) 7位 池田結花(6年)

☆第35回のおんちゃんスキー大会(2月1日, 妙高高原クロスカントリーコース)

〈クロスカントリースキー〉

低学年男子(1.2km)

2位 岡田陽色(2年)

3位 山崎大和(2年)

4位 岡田幸也(2年)

中学年女子(2km)

2位 佐藤萌夏(3年)

3位 岡部ちとせ(3年)

中学年男子(3km)

3位 山崎 丈(4年)

4位 吉越優希(4年)

5位 佐藤雅斗(3年)

6位 原田楓太(3年)

高学年女子(2km)

4位 池田結花(6年)

6位 岡部このみ(6年)

高学年男子(3km)

1位 鴨井岳士(6年)

2位 小俣竜也(6年)

4位 山川 走(6年)

男子リレー(3×2km)

1位 妙高高原南Aチーム(山川 走, 鴨井岳士, 小俣竜也)

4位 妙高高原南Bチーム(山崎 丈, 吉越優希, 原田拓飛)

6位 妙高高原南Cチーム(芦野清志郎, 黒田倅希, 濱元真斗)

女子リレー(3×1.2km)

2位 妙高高原南Aチーム(山崎颯希, 池田結花, 岡部このみ)

3位 妙高高原南Bチーム(原田夏菜, 野本千尋, 宮腰サラ)

4位 妙高高原南Cチーム(荒井萌々, 岡田未有, 芦野舞花)

写真: 上…6年 鴨井岳士さん 下…6年 小俣竜也さん



南っ子の活躍

☆第35回のもんちゃんスキー大会(2月2日, 赤倉観光リゾートスキー場チャンピオンBコース)

〈アルペンスキー〉

低学年以下男子大回転 1位 森 尊(1年)
4位 佐藤大河(2年)

低学年以下女子大回転 1位 郷戸陽葵(2年)
2位 清水 暖(2年)

中学年男子大回転 1位 野本和愛(4年)
4位 清水 零(4年)

中学年女子大回転 1位 三住 幸(4年)
3位 森 葵(4年)
4位 水野歩佳里(4年)

5位 引場彩乃(4年)
6位 新井咲希(4年)

高学年男子大回転 1位 峰村岳臣(5年)
6位 青木勇翔(5年)

高学年女子大回転 2位 池田優香(5年)



5年 峰村岳臣さんの滑走



5年 青木勇翔さんの滑走

☆新潟県硬筆書き初め大会

準特選 森 尊(1年)



ソチ冬季五輪、7日開幕!!

2月7日(金)、第22回ソチ冬季五輪が開幕しました。

妙高市からは距離男子の恩田祐一選手(3回目)とジャンプ男子の清水礼留飛選手(初出場)が日本代表として出場します。

1月12日(日)、妙高高原メッセで開催された激励会では、恩田選手から、「今度こそメダルをとる」という力強い決意表明がありました。

みんなで2人の活躍を応援しましょう。



激励会での恩田祐一選手・清水礼留飛選手(父)

家族揃って感染性胃腸炎・インフルエンザ感染予防を!!

当校では、今のところインフルエンザ感染者は1名ですが、妙高市内ではインフルエンザや感染性胃腸炎によって学級閉鎖を行っている学校があります。インフルエンザは、例年1月下旬から2月上旬が流行期で、これまで前半にA香港型が流行し、後半にB型が流行するというパターンが多かったのですが、今年はA香港型とB型が混在するという、いつもと違ったパターンで感染が進んでいるようです。

のんちゃんスキー大会が終わって、信越学童スキー大会まで2週間を切りました。大会本番に向けて練習に熱が入るこの時期に、学級閉鎖をして休んでいるわけにはいきません。先日の全校朝会で、子どもたちに「大会で結果を出すためには、練習も大事ですが、体調管理を十分に行ってベストな状態で大会に臨むことも大事です。大会に出る人も出ない人も、みんなで感染予防に努めましょう。」という話をしました。

先月、浜松市で900人を超す児童が下痢や嘔吐を訴えるノロウイルスによる大規模な食中毒が発生しました。ノロウイルスは、かつては牡蠣などの二枚貝が主な感染源とみられていましたが、最近ウイルスが調理従事者を介して食品に付着したとみられる例が多くなっています。ノロウイルスは感染力が極めて強く、わずか10～100個のウイルスでも発病につながる上、低温で乾燥した場所では60日も生き残ると言われています。東京都健康安全研究センターの実験によると、下痢状の便の場合、2枚重ねのトイレットペーパーを10枚重ねて拭き取っても指からウイルスを検出したそうです。手洗いの際、水洗いだけでなく、石けんを使って丁寧に行わないとウイルス感染から自分の身を守ることができないことを証明しています。

学校では、うがい・手洗いの励行・マスクの着用を徹底するよう指導しています。ご家庭でも、感染防止に十分にご理解とご配慮をお願いいたします。そして、少しでもせき・鼻水・頭痛などの風邪症状が出たり、下痢や嘔吐の症状が出たりした場合は、早めに受診してください。



2月の行事予定



1日(土)	のんちゃんスキー大会(クロカン)	25日(火)	交流朝会, 体験入学(午後)
2日(日)	のんちゃんスキー大会(アルペン)	26日(水)	計算力テスト, 学校関係者評価委員会
4日(火)	全校朝会(表彰)	27日(木)	高原中新入生説明会
5日(水)	低学年スキー教室(午前)	28日(金)	全校アルペンスキー教室
7日(金)	降雪期休業		P T A三役会, P T A常任理事会
11日(火)	祝建国記念の日		
12日(水)	N R T学力検査(理科・社会) 委員会活動		
14日(金)	降雪期休業		
20日(木)	降雪期休業		
21日(金)	降雪期休業, 信越学童スキー大会		
24日(月)	夏校時開始, 委員会活動		

スキー学習・課外スキー実施日

3(月)	4(火)	6(木)	7(金)
10(月)	13(木)	14(金)	17(月)
18(火)	20(木)		

